



ペースメーカー植え込み術を受けられる患者さんへ

患者氏名: さん		担当医名:		受け持ち看護師名:																	
月 日(日 時)	／ ～ ／	／		／	／	／	／	／	／	／	／	／									
経 過(病日等)	手術日まで	手術当日(手術前)		手術当日(手術後)		術後1日目		術後2日目		術後3日目		術後4日目		術後5日目		術後6日目		術後7日目		退院日	
達成目標	・手術の必要性が理解できる。			・手術した側の腕を安静に保つことができる。										・ペースメーカーチェックにより異常がない。							
	・手術後の安静が理解できる。			・ペースメーカー異常の症状が出た時は知らせることができる。																	
				・脈の測定ができる。																	
				・出血がない。 ・痛みのコントロールができる。										・電磁波の影響を受けることがわかる。 ・検査によって受けられないものがあることがわかる。							
治療・薬剤 (点滴・内服)		・持参した内服薬を入院時に確認させていただきます。		・主治医より内服薬の中止指示がない場合は通常通り内服してください。		・帰室後も点滴は続きます。 ・抗生剤の点滴を行います。 ・問題なければ終了次第、点滴の針を抜きます。		手術の開始時間は (:)からです。						・上肢の挙上制限がわかる。 ・手術部位のテープの管理がわかる。							
		・内服薬に変更がある場合は説明します。		・手術1時間前に点滴を開始します。――→																	
		・手術1時間前に気分を落ち着かせる薬を内服します。		・手術へ行く時に抗生剤を点滴します。																	
		・手術前日にペースメーカーを植え込む辺りの毛を剃ります(必要時)。		・体温、脈拍、血圧、酸素の値を測ります。 ・検査着に着替えます。 ・入れ歯、時計、メガネ、指輪を外して下さい。 ・(:)頃、車椅子で手術室へ行きます。														・心電図モニターをつけます。 ・体温、脈拍、血圧、酸素の値を測ります。		・ペースメーカーチェック後、心電図モニターを外します。 ・手術部位を確認します(テープは、外来まで外さないでください。帰宅後にはがれた場合はそのままに置いて下さい。)	
検査		・血液検査、尿検査、胸部レントゲン、心電図		・手術は3階手術室で行われます。		・胸部レントゲン、心電図		・心電図、胸部レントゲン、血液検査(必要時)				・ペースメーカーチェック		・心電図、胸部レントゲン、血液検査							
																					
活動 安静度		・病棟内は自由です。		・手術まで病棟内は自由です。		・ベッドに寝たままの安静です。手術部位の確認後(約1時間後)より、30度ベッドを上げることができます。		・午前中にトイレまで歩行できます。		・病棟内のみ歩行できます。		・病院内は自由です。									
						・手術した側の腕を三角巾で固定します。 (肘からは自由に動かしますが、腕は挙げられません。脇は体につけておきましょう。)				・三角巾を外します。								・手術した側の手は肩まで挙げることができます。			
食事		・心臓食		・朝食: 半分、昼食: 絶食です。		・手術後より食事可能です。															
清潔		・シャワーができます。						・入浴、シャワーはできません。希望時は温かいタオルで体を拭くことはできます。		・上半身は温かいタオルで拭くことができます。				・全身シャワー浴ができます。							
排泄		・制限はありません。		・手術前に尿の管を挿入します。		・安静解除まで排便時は差し込み便器を使用します。		・尿の管を抜きます。 ・トイレで排泄が可能です。		・トイレまで歩行できます。											
患者様及び ご家族への説明 生活指導 服薬指導		・医師から治療について説明後、入院診療計画書・同意書の提出をお願いします。 ・バスタオル1枚、三角巾1枚の準備をお願いします。 ・看護師より入院生活、手術について説明を行います。 ・薬剤師が持参の内服薬の確認に伺います。		・手術後に気をつけなければならない自覚症状について説明します。 動悸 息苦しさ・発熱 しゃっくり・手足のむくみ 植え込み部位の痛み・発赤 この様な症状があれば、すぐに知らせてください。		・安静度について説明をします。 ・動悸を自覚したらすぐに教えて下さい。 ・腰痛や手術部位の痛みには痛み止めを使用できます。				・生活指導を行います。 電磁波の予防について・携帯電話について ペースメーカーに影響を及ぼす検査について(MRI等) 仕事・入浴・食事・運動について 電池の寿命について 自己検脈の方法について				・ペースメーカー手帳をお渡しします。 ・次回外来診察があれば予約券をお渡しします。 ・診察券をお返しします。							

注1 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります。
注2 入院期間については現時点で予想される期間です。